

九州ダイエツクック 地元・佐賀県の高校生と文化祭でコラボ！

佐賀県産猪肉のソーセージを使ったカレーパンを販売 食を通じた地域の活性化に貢献

株式会社九州ダイエツクック（佐賀県佐賀市、代表取締役社長：立石 謙児、ケンコーマヨネーズ株式会社の100%子会社、以下九州DC）は、佐賀県立 高志館高等学校 食品流通科の生徒と共同で、オリジナルカレーパン「WE（ウィー）カレーパン」を開発し、11月18日（土）に行われた佐賀県立 高志館高等学校の文化祭「高志祭」で販売しましたのでご報告します。

今回のコラボレーション企画は、食を通じた地域の活性化につながる取り組みとしてだけでなく、食品製造における知識・技術などを学ぶ佐賀県立 高志館高等学校 食品流通科の生徒にとって、新たな発見や成長の機会としていただきたいという思いのもとスタートしました。

「WEカレーパン」は、九州DCからケンコーマヨネーズ商品の『やさいと大豆ミートのキーマカレー』（九州DC製）、『ゆで卵H』（九州DC製）、『レストランポテトサラダ』の3品を提供し、佐賀県産の猪肉を使った「ジビエソーセージ」と組み合わせました。Wild boar（猪）、Egg（卵）の頭文字をとって「WEカレーパン」と名付けました。

レシピの検討からはじまり、約4か月の期間で計3回の試作や改良を重ね、生徒はお客様に安心して食べていただけるよう品質管理なども学びながら、文化祭当日に向けて商品を作り上げました。当日は、高志館高等学校の卒業生である九州DCの従業員も参加して商品や開発までの過程などを説明しながら販売し、保護者や卒業生、近隣住民の方々にご購入いただきました。

ケンコーマヨネーズグループは今後も、地域社会と連携した新たな取り組みを推進してまいります。



▲WEカレーパン



佐賀で獲れた猪肉で作ったソーセージを使用しました。独特の臭みもなく、肉の濃厚な旨味が楽しめるのが特長。



文化祭当日「WEカレーパン」を包装する生徒たち

<高志館高等学校 生徒のコメント>

パンの形や具材の組み合わせなど見た目も味も楽しんでもらえるように考えるのが大変でした。また、ジビエソーセージを食べやすくすることにもこだわりました。思いの詰まった商品が完成し、文化祭当日には販売と同時にたくさん売れて完売したことがとても嬉しかったです。良い経験になりました。

《本資料に関するお問い合わせ先》

ケンコーマヨネーズ株式会社 経営企画本部 広報・IR課 Mail : kouho@kenkomayo.co.jp